

令和6年度第2回北海道難聴児支援推進協議会（R7.3.21）概要

※黒字→事務局説明 赤字→構成員からの意見・追加説明

1 新生児聴覚検査に係る動向について

(1) サイトメガロウイルス感染症について

- ア 検査に関する国の動向
- イ 今後必要になると思われる取り組み
- ウ 新生児聴覚検査実施状況調査結果

→ 公費負担について、道からも働きかけてほしい

(2) お子さんの「きこえ」の手引きの主な改正点(案)について

2 他県における中核的機能の在り方について

(1) 中核となる機関の種類、設置形態、コーディネーター・キーパーソンの種類ごとの都道府県数

(2) 国が示す中核的機能で実施が求められる5事業に対する、都道府県ごとの取組について

- 各都道府県の特徴(運営・立ち上げの背景等)
- 北海道の場合は既存のリソースなのか、新たに作るのかも考える必要あり
- 北海道の進捗具合、方向性のイメージについて
- 令和7年度に議論を進め、令和8年度末までに在り方の方向性

3 難聴児支援に関するアンケート調査について

(1) 調査の概要について

(2) 保護者用調査の結果報告

- 学会でも共有したい
- オンラインで相談できる状況を作るべき
- 住んでいる地域ごとのニーズを把握したい
- 教育関係機関へも情報提供してほしい

(3) 職員用調査の結果報告

- 職種ごとのニーズを把握したい

4 令和7年度（2025年度）難聴児支援に係る事業について

国が示している5項目を実施する（協議会については3回開催予定）

- 次回以降「広域的な北海道における中核的機能について」意見交換